

北九州港港湾施設検討に伴う土質調査(海上)のお知らせとご協力のお願い

この度、北九州港において下記のとおり海上作業を実施しますので、航行船舶は十分注意をお願いします。
ご迷惑をおかけしますが、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

1.業務概要

業務名称：令和6年度 北九州港港湾施設土質調査外1件
 調査目的：港湾施設の設計に必要な地盤情報を得るため
 作業期間：令和6年7月上旬～令和6年8月上旬の間のうち1ヶ月間程度
 作業時間：8:00～17:00（土日祝日は休工とします）
 作業内容：潜水探査2箇所、海上ボーリング2箇所

2.調査位置図（北九州市門司区新門司地先）



海上ボーリング場所(2箇所)

出典：国土地理院

3.作業期間

	令和6年		
	6月	7月	8月
潜水探査		●●	
海上ボーリング		●●●●	

※作業期間は7月上旬～8月初旬の間の1ヶ月間程度を予定しています。
 ※土日祝日は休工とします。
 ※工程は気象状況や地層状況により変更となる場合があります。

- 潜水探査 1日程度
- 海上ボーリング 1箇所につき6日程度

4.調査方法

- ### 4.1 潜水探査(図1参照)
- ①潜水士により、調査地点を中心に半径8mの範囲を潜水探査(磁気探査)します。
- ### 4.2 海上ボーリング(図2, 写真1～4参照)
- ①スパット台船(広さ6m×6m)やボーリング資材を護岸に運搬搬入します。
 - ②クレーンを使用してスパット台船を組立てます。
 - ③スパット台船をボーリング地点まで曳航します。
 - ④スパット台船を据え付け、ボーリングを開始します。



写真1. 搬入状況 写真2. スパット台船組立状況 写真3. スパット台船曳航状況



写真4. 調査状況例



写真5. 標識灯

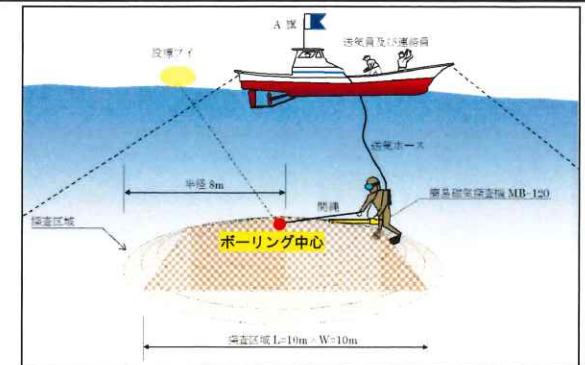


図1. 潜水探査状況

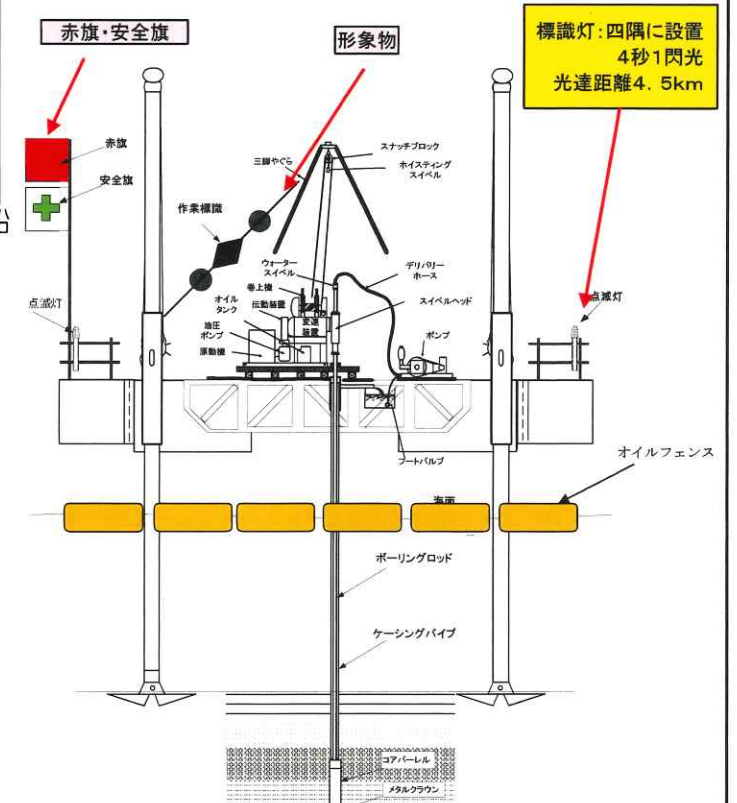


図2. 海上ボーリング概要図

5.安全対策

作業は関係法令等遵守の上、下記の対策を実施します。

- ### 5.1 潜水探査(図1参照)
- 潜水士船には国際信号A旗を掲げます。
 - 潜水作業中は、警戒船を1隻配置します。
- ### 5.2 海上ボーリング(図2, 写真4～5参照)
- 台船組立、解体時は作業範囲を明示し、第三者事故防止に努めます。
 - 台船上に赤旗や形象物、四隅に標識灯(4秒1閃光、光達距離4.5km)を設置し、海上衝突予防法を遵守します。
 - 油流出防止として台船周りにオイルフェンスを設置し、油流出防止に努めます。
 - ボーリング作業中は、警戒船を1隻配置します。

-作業中止基準-

- ・有義波高1.0m以上
- ・平均風速10m/sec以上
- ・視界1,000m以下
- ・降雨量20mm/h
- ・津波注意報発令時
- ・大雨洪水警報発令時
- ・雷鳴時
- ・地震震度4以上および作業に危険と判断した時

6.連絡先

発注者：国土交通省 九州地方整備局 北九州港湾・空港整備事務所
 TEL 093-321-4634

受注者：日本地研株式会社
 TEL 092-571-2764(本社)
 担当者 村瀬 (TEL 090-8798-6960)
 庄籠 (TEL 080-8588-8690)
 明石 (TEL 080-8956-5026)

※ご不明な点などありましたら、上記担当者へお問い合わせください。